

授業科目名	福祉事務所運営論		担当教員名	長谷川 恵一郎
必修/選択	選択 (/社会福祉主事任用資格)		開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	その他の資格取得科目		単位数	2単位
施行規則に定める科目区分 等			授業方法/担当形態	講義 / 単独
			特記事項	
授業の到達目標	社会福祉事務所に関する基本的認識を持つこと 及び現代社会の動向において福祉事務所の役割を理解することを到着目標及びテーマとする。 (1)福祉事務所の法的な性格と機能を理解する。 (2)福祉事務所の組織と各職種の業務内容を理解する。 (3)福祉事務所と関係機関等との連携について理解する。			
授業の概要	生活保護関連分野の実務経験を生かして、福祉事務所の成立から現在までの歴史的展開及び福祉事務所の組織、役割、業務内容等について基本的にテキストを中心に解説し、福祉事務所の取り扱う具体的法令まで幅広く講義する。同時に現代的課題に対応するために新聞記事、参考資料等を適宜取り上げ理解を深める。			
テキスト	「福祉事務所運営論 (第4版)」・宇山勝儀・船水浩行編著 (ミネルヴァ書房)			
参考書・参考資料等	「社会福祉小六法」			
成績評価の方法	○定期試験：60% ○課題レポート：25% ○参加意欲及び学習態度：15%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	プロローグ (全体の授業の流れ)			(2)
第2回	福祉事務所を取り巻く環境の変化			(1)
第3回	社会福祉の目的と福祉事務所の運営			(1)
第4回	福祉事務所、社会福祉主事と生活保護			(1),(2)
第5回	福祉事務所の展開、福祉事務所運営指針			(1)
第6回	福祉関係八法改正、介護保険法、地域分権一括法			(1)
第7回	福祉事務所の業務と組織			(1),(2)
第8回	福祉事務所と関係社会資源との連携			(3)
第9回	福祉事務所の運営と民生委員の役割			(3)
第10回	福祉事務所の専門職員とその役割			(2)
第11回	社会福祉主事の専門性と倫理			(2)
第12回	社会福祉主事業務と社会福祉援助技術			(2)
第13回	対人援助技術とバイステック7原則			
第14回	福祉事務所をめぐる最近の政策動向			(2)
第15回	福祉事務所の業務に関する法制度			(1)
定期試験	筆記試験、レポート提出			